



人々はCOVID-19パンデミックに関連するストレスに、どれだけうまく対処できているのでしょうか？

新型コロナウイルス感染症と「絶望病」

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の世界的流行とこれによる「絶望病」の広まりは、死亡率や罹患率の長期的傾向に影響を及ぼすことになるのだろうか

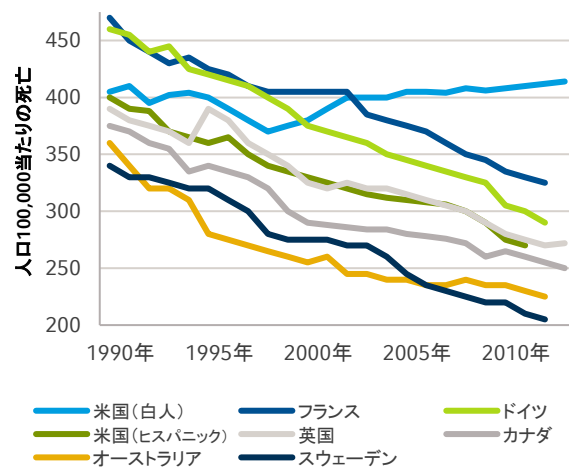
はじめに

2015年に、プリンストン大学の経済学者であるAnne CaseとAngus Deatonの2人が1983～2013年における米国の死亡率傾向の分析結果を発表したとき¹、それは一種のショックをもって受け止められました。全体としては歴史的な改善傾向が続いていましたが、特定の集団、特に大学教育を受けていない中年白人層では、その逆であることが判明したからです。この2人により、この1世紀間に初めて死亡率が上昇していることが示されました。CaseとDeatonはこの上昇傾向の原因を「絶望病 (diseases of despair)」の増加にあるとしました。- 絶望病とは、薬物中毒、特にオピオイド関連の薬物乱用と、それに並行したアルコール性肝疾患や自殺の増加に起因する死亡および体調不良のことです- CaseとDeatonはこれらの原因を1つにまとめ、「…蓄積した苦悩と期待外れの人生…」により引き起こされた精神的または「スピリチュアル」な苦痛の身体的徴候の表現または反映であると理論化しました¹。

¹ Case, Deaton; Rising morbidity and mortality in midlife among white non-Hispanic Americans in the 21st century, Sept 2015

45～54歳における全死亡率 主要な高収入国での比較

Case & Deaton 2017, 21世紀の死亡率と罹患率から作成¹



当時評論家たちが疑問に思ったのは、これが米国に特有の現象なのか、それとも今日の世界の相互連結した状況から、いずれ他の諸国でも生じうる傾向の前兆なのか、という点です。実際に英国では、65歳の平均余命が2011年以来、対前年比で0.5%ずつ確かに減少していることが2019年に報告され、英国アクチュアリー会はこの減少を「一時的な減少ではなく新しい傾向」とであると判定しました²。

² Pike; Life expectancy in England and Wales has fallen by six months BMJ 2019;364:l1123

2020年が明けるとともに、COVID-19が1918年以来の規模で世界的に流行し、ロックダウンが行われ、日常生活が一変し、社会経済が混乱する中で、何百万人もの人々が職を失い生命を落とす事態に見舞われました。当然のことながら、医学界および政府自治体がこのパンデミックの直接的で深刻な結果である壊滅的影響への対策（例えば、感染予防、入院の最少化、患者の治療、COVID-19関連死の防止）に焦点を当てています。しかし、間接的な影響への言及は少なく、ロックダウンに伴う社会的孤立の心理的影響、亡くなった250万人以上の愛する人の死を悼む人々の悲しみの洪水、そしてこれらと軌を一にして生じた経済的混乱、失職および休業にはあまり注意が払われず、これらすべてがいわゆる「絶望病」の増加を促すのかどうか、という点も看過されてきました。

メンタルヘルス

率直に言って、私たちの中で昨年の状況から影響を受けなかった人がいるでしょうか？たとえそれが単に将来に対する一抹の不安、人と関わる機会が失われたこと、慣れ親しんだ物や普段の活動から離れているための気分の落込み、といったものだけだとしても。

パンデミックによって、心理的苦痛、不快（不快感）、不安、ストレスおよびうつ状態の割合は増加しているのか？

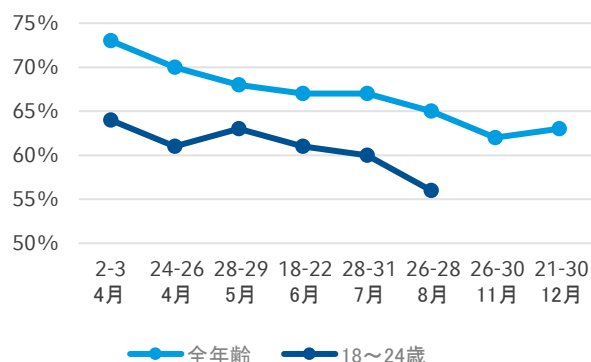
メンタルヘルス財団（英国の4つの大学間の共同組織）はこのパンデミックの期間中、4,000人を対象に定期的な調査を実施し、次のような結果を報告しています。

- 2020年8月、64%の人々はこのパンデミックに、上手くまたは非常に上手く対処していました。しかしこのいわゆる「回復力」の割合は時間の経過とともに低下しているように見え、11月後半には最低レベルに落ち込みました。
- この割合は若年成人層で特に低く、8月時点で3%が「あまり上手く対処していない」と回答しています³。

³ Mental Health Foundation; Coronavirus: Mental Health in the Pandemic – a long-term collaborative study

英国成人におけるCOVID-19でのストレス

“HCOVID-19パンデミックに関連するストレスにどれだけうまく対処していると思いますか？”（上手く / 非常に上手くと回答）³



個別の精神疾患

同様に、University College LondonのCOVID-19 Social Study⁴もパンデミック期間中のメンタルヘルスのパターンを追跡することを目的に、70,000人の参加者を調査しています。2020年9月時点での全体的な結論として、うつ状態と不安の評価スコアが低下し、このパターンはどのサブグループでも認められたことが報告されました。しかし、この結論は英国国家統計局（ONS）が「COVID-19 and depression in Adults (COVID-19と成人におけるうつ状態)」について2020年6月に公表した報告と著しく対照的です。この報告では、中等度から重度のうつ状態の割合が、パンデミック発生9ヵ月前は9.7%であったのに対し、19.2%と報告されています⁵。

自殺

心理的苦痛の最も重大な指標である自殺についてはどうでしょうか。メンタルヘルス財団の調査によると、2020年4月には回答者全体の8%が自殺したい気分を経験しましたが、2020年12月のロックダウンまでにこの割合は12%に上昇しました。しかし、このような形で苦痛を示した人々の割合が著しく大きかったのは、精神疾患の既往者（30%）、失業者（26%）および若年者（22%）でした。

一方で、英国ONSは1~3月の期間に人口10万人あたり10.3例の自殺を登録し（1,262例の死亡登録に相当）、4~6月の期間では人口10万人あたり6.9例の自殺を登録しました（845例の死亡登録に相当）。これは自殺例の低下を示唆しています。

⁴ UCL COVID-19 Social Study

⁵ Office for National Statistics, Coronavirus and depression in adults, 06/20

しかし、すべての自殺事例が調査官によって調査されるわけではなく、死亡登録前の調査の実施に5ヵ月前後かかることもよくあります。たとえば、2020年6月までに登録された自殺845例のうち、2020年4月から6月の間に実施された調査は45例にすぎません⁶。これは、社会的に弱い立場にある多数の人々が恐ろしい苦悩を経験している一方で、実際の自殺率の増加にはまだ反映されていないことを示唆しています。

世界の他の地域でも、矛盾した状況がみられます。多くの事例調査では、インド、中国、サウジアラビア、ドイツおよびイタリアで、一部の自殺がパンデミックの直接的な結果として発生していることを示唆しています⁷。日本での研究(慶應義塾大学 坂元晴香氏)によると、2020年秋の自殺件数は平均以上のピークを示しました⁸。同様に米国で、Holland et al.は自殺と薬物過量投与の両方に対する救急外来受診を調査し、2019年と2020年を比較したところ、両方で統計的に有意な上昇を認めました⁹。

メンタルヘルスへの影響という観点からみた全体像は、地理的にも、また社会経済学的にも矛盾する面があります。そして、これに対する1つの説明として、大きな危機的状況での「一体感」の効果が持つ中和作用の影響があげられます。人々が、大きな国家的努力に参加していると感じた結果、実際に自殺率が低下します(例:9.11同時多発テロ事件後の米国)¹⁰。しかし、ロックダウンの経済への長期的影響が感じられるようになるにつれ、この中和作用の影響も一時的なものになる可能性があります。実際、過去の景気後退を考えると、経済的打撃の影響と自殺率に対するその影響との間にタイムラグがあるのは、前例のないことではありません。また、SARS(重症急性呼吸器症候群)の流行時には、ウイルス感染した患者がその後精神疾患を発症し自殺するリスクが増大したことも教訓となりました¹¹。しかし、同じ現象がCOVID-19で発現するかどうかを述べるのは時期尚早といえます。

アルコール乱用

パンデミック期間中にアルコールの乱用は増加したでしょうか。また、その結果はどのようなものでしょうか。多くの地域で、居酒屋など酒類販売許可を受けている店は休業したと考えられますが、南アフリカのようにすべての酒類販売の完全な禁止措置を取った国は極めて少数でした。

英国メンタルヘルス財団の調査によると、2020年春には回答者の30%がストレス解消のために酒量が増えたことを報告しましたが、この割合は初夏までに40%に上昇しました。さらにBritish Liver Trustは、電話相談サービスへの電話が500%増加したと報告しています¹²。

しかしながら、英国におけるアルコールの購入パターンに注目したAnderson et al.の研究によると(アルコール換算のグラム数で測定)、アルコール購入量はわずか0.7%の増加しか示されませんでした。しかしこれには注目すべき例外があり、中年の比較的裕福な世帯では購入量が増加していたのです¹³。同様にオーストラリアの調査でも、回答者の5分の1は消費が減少したと回答しましたが、およそ4分の1は増加したと述べ、そのうち8%近くの回答者は著しく増加したと回答しました¹⁴。

つまり全体として、私たちの多くはアルコール摂取量が多少は増えたかもしれませんが、これまでのところ飲酒問題が広範囲にわたって増加した証拠はほとんどありません。しかし、以前からアルコール摂取に問題を抱えていた人々には、パンデミックは非常に大きな課題を突き付けています。たとえば米国では、すでに1,500万人がアルコール性肝疾患を抱えています。そのため入院率は2020年3月以来30~50%増加しています¹⁵。

イングランドおよびウェールズの2020年第1~第3四半期までの暫定的数字でも、アルコールが原因の死亡は2019年と比較して15%の増加を示しており、2001年以来最大の増加率を記録しています。無論、これらの死亡が長期にわたる慢性疾患を持った人々の事例であり、直接パンデミックに起因するものではないことに留意する必要がありますが、社会的孤立とプライマリケアなどの介入の減少がこの上昇に寄与していると考えられるでしょう。

⁶ Iacobucci; Suicide rates continue to rise in England and Wales BMJ 2020; 370:m3431

⁷ Thakur, Jain; COVID 2019-suicides: A global psychological pandemic.

⁸ Sakamoto et al.; Assessment of Suicide in Japan During the COVID-19 Pandemic vs Previous Years. JAMA Netw Open.

⁹ Holland et al. Trends in US Emergency Department Visits for Mental Health, Overdose, and Violence Outcomes Before and During the COVID-19 Pandemic. 3 Feb 2021.

¹⁰ Reger et al.; Suicide Mortality and Coronavirus Disease 2019—A Perfect Storm? 10 Apr 2020.

¹¹ Tzeng et al. What could we learn from SARS when facing the mental health issues related to the COVID-19 outbreak? A nationwide cohort study in Taiwan, 2020

¹² BBC News, Alcoholism in the time of coronavirus, 6 Oct 2020

¹³ Anderson et al.; Impact of COVID-19 Confinement on Alcohol Purchases in Great Britain: Controlled Interrupted Time-Series Analysis during the First Half of 2020 Compared With 2015-2018, 19 Nov 2020

¹⁴ Australian Government Institute of Health and Welfare; Alcohol, tobacco & other drugs in Australia, accessed 9 Feb 2021

¹⁵ Los Angeles Times, As alcohol abuse rises amid pandemic, hospitals see a wave of deadly liver disease, 8 Feb 2021

薬物乱用

「絶望病」という概念の根拠の1つは、米国における薬物類の過量投与の急増でした。この現象は1999～2017年の期間に3倍になり、オピオイド関連の死亡は6倍に増加しました。この問題は、部分的には、慢性疼痛の治療でのこの強力な薬物への過度の依存と過剰処方の原因であり、その量は欧州に比べて5～8倍に上っています¹⁶。これに対するCOVID-19パンデミックの影響はどのようなものだったのでしょうか。すでに論じた他の問題と同じく、これについてもパンデミックは既存の問題を悪化させており、米国疾病予防管理センター（CDC）の報告では2020年の薬物関連死は約81,000例で、記録を取り始めて以来最大となりました¹⁷。

確かに、英国での薬物関連の死亡はパンデミック前の期間が最大であり、死因の半数以上はヘロインとオピエート（オピオイド・アルカロイド）でした。しかし、肯定的な面として、上昇率が平坦化していると考えられることと、メンタルヘルス財団の調査によるとパンデミック期間中に違法薬物を使用したのは回答者の2%だけであり、第1波の期間中この割合が一定であったことがあげられます。これは、需要の低下と並び、供給の低下にも関連していると考えられ、より厳格な国境管理に加え国外旅行が激減したことを反映している可能性があります¹⁸。

結論

これらすべてにはどのような意味があるのでしょうか。「絶望病」という現象は現実に存在する、と結論付けることが合理的ですが、その影響と規模は国によって異なり、一国の中でも人口構成により決定的な違いがあります。

では、COVID-19の影響はどのようなものでしょうか。全体として、精神疾患の罹患率やアルコールまたは薬物の乱用率から評価する限り、今のところは、社会はまだかなり回復力があるようにみえます。ただし、これがいつまでも続くとは限りません。しかし、社会全体が広く「うまくやっている」としても、一部の人々にとっては、たとえウイルス感染自体は免れているとしてもパンデミックが悲惨な体験であり、失業貧困および格差の問題ですでに崩壊している地域ではアルコール性肝疾患、薬物使用および自殺念慮の割合が著しく増加している、という事実を見逃さないよう、私たちは気を付けなければなりません。

また、生命保険業界でのビジネスにはどのような影響があるのでしょうか。COVID-19に直接起因する請求は疑いもなく増えており、死亡保険金の請求が最も明白な例ですが、重症例での昏睡や集中治療に関する請求もあり、もちろんCOVID-19に関連した休業のための保険契約も増えています。今のところ、パンデミックの間接的な影響（これには「絶望病」も含まれるでしょう）に対する保険金や給付金の請求はまだほとんど出現していません。しかしながら、今後、経済的影響が席卷するにつれ自殺に関する保険金請求が増加したり、またたとえば（ストレス関連の）心臓発作や肝不全などの重篤な疾患に関する請求の増加に直面する可能性があります。

したがって私たちは、このような新しい傾向を発見するべく警戒を怠らずにいると同時に、保険金・給付金請求者に対してつねに公平かつ親身な対応をすることが求められるのです。

本稿に関するお問い合わせは

Paul Edwards

Underwriting Research & Systems Development
Manager
Tel. + 44 20 3206-1736
paul.edwards@hannover-re.com

河野秀弥

ハノーバー・リー・サービス株式会社
シニアマネージャー
Tel. 03 5214 1101
hideya.kohno@hannover-re.com



Life & Health ニュースの最新情報は、LinkedInをご覧ください。



メンタルヘルスに関連したより詳しい情報は、hr | equariumで見つけてください。

¹⁶ DeWeerd, Tracing the US opioid crisis to its roots Nature 573, S10-S12 (2019)

¹⁷ CDC Newsroom, Overdose Deaths Accelerating During COVID-19, 17 Dec 2020

¹⁸ The Guardian, Coronavirus triggers UK shortage of illicit drugs, 12 Apr 2020

参考文献

Anderson, Peter et al. "Impact of COVID-19 Confinement on Alcohol Purchases in Great Britain: Controlled Interrupted Time-Series Analysis During the First Half of 2020 Compared With 2015-2018." *Alcohol and alcoholism* (Oxford, Oxfordshire), agaa128. 19 Nov. 2020, doi:10.1093/alcalc/agaa128

Australian Government Institute of Health and Welfare; Alcohol, tobacco & other drugs in Australia, <https://www.aihw.gov.au/reports/alcohol/alcohol-tobacco-other-drugs-australia/contents/impact-of-covid-19-on-alcohol-and-other-drug-use>; accessed 9 February 2021

BBC News, Alcoholism in the time of coronavirus, 6 October 2020; <https://www.bbc.com/news/uk-england-essex-53684700>; accessed 9 February 2021

Case, Anne, Deaton, Angus; Rising morbidity and mortality in midlife among white non-Hispanic Americans in the 21st century *Proceedings of the National Academy of Sciences*; Sept 2015 <https://www.pnas.org/content/pnas/early/2015/10/29/1518393112.full.pdf>

CDC Newsroom, Overdose Deaths Accelerating During COVID-19, December 17 2020; <https://www.cdc.gov/media/releases/2020/p1218-overdose-deaths-covid-19.html>; accessed 9 February 2021

DeWeerd, S. Tracing the US opioid crisis to its roots *Nature* 573, S10-S12 (2019)

Gunnell D, Appleby L, Arensman E, et al.; COVID-19 Suicide Prevention Research Collaboration. Suicide risk and prevention during the COVID-19 pandemic. *Lancet Psychiatry*. 2020;7(6):468-471. doi:10.1016/S2215-0366(20)30171-1PubMed

Holland KM, Jones C, Vivolo-Kantor AM, et al. Trends in US Emergency Department Visits for Mental Health, Overdose, and Violence Outcomes Before and During the COVID-19 Pandemic. *JAMA Psychiatry*. Published online February 03, 2021. doi:10.1001/jamapsychiatry.2020.4402

Iacobucci, Gareth; Suicide rates continue to rise in England and Wales *BMJ* 2020; 370 :m3431

Los Angeles Times, As alcohol abuse rises amid pandemic, hospitals see a wave of deadly liver disease, February 8th 2021

Mental Health Foundation; Coronavirus: Mental Health in the Pandemic – a long-term collaborative study by University of Cambridge, Swansea University, the University of Strathclyde and Queen's University Belfast. <https://www.mentalhealth.org.uk/our-work/research/coronavirus-mental-health-pandemic>; accessed 9 February 2021

Moutier C.; Suicide Prevention in the COVID-19 Era: Transforming Threat Into Opportunity. *JAMA Psychiatry*. Published online October 16, 2020. doi:10.1001/jamapsychiatry.2020.3746

Office for National Statistics; Coronavirus and depression in adults, Great Britain: June 2020:

[https://www.ons.gov.uk/peoplepopulationandcommunity/wellbeing/articles/coronavirusanddepressioninadultsgreatbritain/june2020#:~:text=the%20coronavirus%20pandemic-,Almost%20one%20in%20five%20adults%20\(19.2%25\)%20were%20likely%20to,July%202019%20to%20March%202020](https://www.ons.gov.uk/peoplepopulationandcommunity/wellbeing/articles/coronavirusanddepressioninadultsgreatbritain/june2020#:~:text=the%20coronavirus%20pandemic-,Almost%20one%20in%20five%20adults%20(19.2%25)%20were%20likely%20to,July%202019%20to%20March%202020); accessed 9 February 2021

Pike, Harriet; Life expectancy in England and Wales has fallen by six months *BMJ* 2019;364:l1123

Reger MA, Stanley IH, Joiner TE. Suicide Mortality and Coronavirus Disease 2019—A Perfect Storm? *JAMA Psychiatry*. Published online April 10, 2020. doi:10.1001/jamapsychiatry.2020.1060

Sakamoto H, Ishikane M, Ghaznavi C, Ueda P. Assessment of Suicide in Japan During the COVID-19 Pandemic vs Previous Years. *JAMA Netw Open*. 2021;4(2):e2037378. doi:10.1001/jamanetworkopen.2020.37378

Sher, Leo; The impact of the COVID-19 pandemic on suicide rates, *QJM: An International Journal of Medicine*, Volume 113, Issue 10, October 2020, Pages 707–712, <https://doi.org/10.1093/qjmed/hcaa202> data

Thakur V, Jain A. COVID 2019-suicides: A global psychological pandemic. *Brain Behav Immun*. 2020;88:952-953. doi:10.1016/j.bbi.2020.04.062

The Guardian, Coronavirus triggers UK shortage of illicit drugs, 12th April 2020

Tzeng, NS., Chung, CH., Chang, CC. et al. What could we learn from SARS when facing the mental health issues related to the COVID-19 outbreak? A nationwide cohort study in Taiwan. *Transl Psychiatry* 10, 339 (2020). <https://doi.org/10.1038/s41398-020-01021-y>

UCL COVID-19 Social Study; <https://www.covidsocialstudy.org/results>; accessed 9 February 2021

本稿に記載されている情報は、法律、会計、税務またはその他の専門的助言を構成するものではありません。Hannover Rück SE は、この文書の信頼性が高く完全かつ最新の情報が含まれるように努めていますが、その正確性や完全性または最新状態の維持について明示的または暗示的に表明または保証するものではありません。

従いまして、Hannover Rück SE およびその関連会社とその取締役、役員または従業員は、いかなる場合においても、本稿の情報またはこれに関連して取られたいかなる決定または行為、あるいはこれらによって発生したいかなる損害に対しても責任を負うものではありません。

©Hannover Rück SE. All rights reserved. Hannover Re は、Hannover Rück SEの登録サービスマークです。